令和６年度　網走桂陽高校
網走市議会報告会・意見交換会開催概要と結果

市民に開かれた議会を目指して網走市議会では、２０１３年から市民向けの議会報告会や意見交換会を定期的に開催しています。

将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映するため、網走市議会議員１５名が網走桂陽高校の３年生１１７名と【網走のまちづくり】をテーマに意見を交わしました。

意見交換会・議会報告会を開催するにあたり、１１月１９日に議会運営委員会の正副委員長が、議会だよりをもとにした【議会活動報告】を行い、事前に議会・議員の活動や、網走のまちづくりについてレクチャーを行いました。

１２月１９日当日の意見交換会の前半は生徒が課題学習で取組みしている【地域との連携事業】について発表を行いました。成果発表の最後には、課題学習を通じて感じた網走市の課題について提言を受けました。

後半は、事前に生徒が考えた【網走のまちづくり】に関する政策テーマについて議員と生徒が各グループで話し合い、高校生の目線でのまちづくりのアイデア・課題を各グループごとに発表しました。

【開催日時】

令和６年１２月１９日（木）１３時２０分～１５時１０分

【開催場所】

網走桂陽高校　体育館

【参加者】

３年生１１７名（男子６７名　女子５０名）

【出席議員】

議員１５名

平賀議長、立崎副議長

金兵議会運営委員会委員長、古田議会運営委員会副委員長

石垣議員、井戸議員、小田部議員、里見議員、澤谷議員

永本議員、深津議員、古都議員、松浦議員、村椿議員、山田議員

【報告会次第】

１　開　　会　　（総合司会）　　　　　金兵議会運営委員会副委員長

２　開会挨拶　　　　　　　　　　　　　平賀議長

３　趣旨説明　　　　　　　　　　　　　金兵議会運営委員会委員長

４　生徒からの取組報告

①ふるさと学習（向陽地区のコンビニ復活計画）
②課題研究（アプトフォーの活性化　フリースペースの設置）
③課題研究（子ども食堂の運営と課題）

まとめ　『網走市への提言』

５　意見交換パート

ワークショップ【網走のまちづくりについて】

６　閉会挨拶　　　　　　　　　　　　　立崎副議長

◯実施時間帯：

12月19日（木）　5時間目（13：20～14：10）
　　　　　　　　休　　憩（14：10～14：20）
　　　　　　　　6時間目（14：20～15：10）

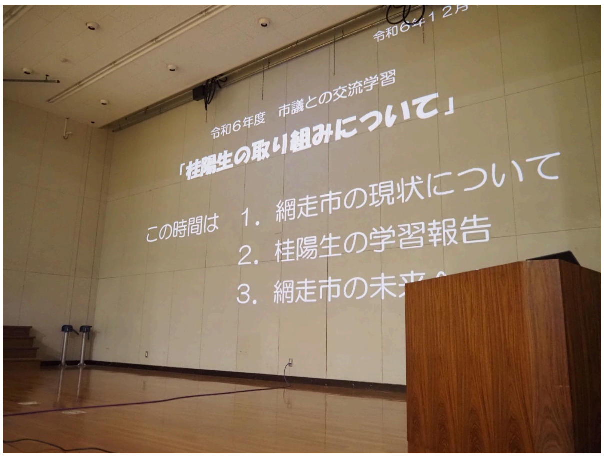
◯ワークショップチーム分け（議運委員長を除く）

A	永本（ごみ問題）	H	松浦（都市計画）
B	小田部（スポーツ・部活動）	I	平賀（社会福祉）
C	村椿（スポーツ・部活動）	J	深津（少子化対策）
D	井戸（公共交通）	K	里見（高校生支援）
E	石垣（公共交通）	L	澤谷（高校生・若者就労支援）
F	古都（高校生支援）	M	古田（都市計画）
G	山田（公共交通）	N	立崎（都市計画）

※１名あたりの受け持ち生徒数　約８～１０名

【11月14日事前説明会の様子】

【１２月１９日　第１部生徒からの課題学習の取組報告・市への提言の様子】



人口の拡大
成・確保

100年先の網走に
子どもの笑い声を
～過去に感謝して未来に誇れる網走を作りた

【第１部　網走市への提言（概要）】

●網走市は、平成２７年７月に『網走市人口ビジョン』を策定。２０４０年の目標値として人口３２，９００人としているが、すでに３２，２８１人（令和６年１０月末住民基本台帳人口）となっており、計画を下回っています。

●網走市は、東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校の入学者確保として補助金による支援を行っていますが、一方で網走桂陽高校の入学者は、この１０年間で１６０人から８０人に半減。しかしながら就職率は４０％で推移しており、そのほとんどが市内の企業・官公庁などに就職していますが、入学者の減少と比例して市内定着者数も減少しています。

●では、入学者数を増やすには？（＝高校生への支援）

①通学にかかる交通費の支援
②高校在学時に取得する各種検定料や参考図書などへの支援
③クラブ活動に伴う遠征費・用具費への支援
その他～Uターンする若者への奨学金制度、地元就職者に対するお祝い金制度など

●網走市へ未来ある若者を残していくためには

『若者議会』の創設を行うこと

・愛知県新城市では、１６～２９歳の市民２０人で構成された『若者議会』を設置。毎年度１，０００万円の予算を確保しています。若者議会で議論された政策は、市長に提案され市議会の議決を経て事業化されているとのことです。

・網走市も《網走若者議会》を設置し、若者の力を市政に反映することで、未来あるまちづくりができると考えます。わたしたち桂陽高校生は、さまざま課題学習を通じ、次世代の網走のことを考え、後輩達にも引き継いできました。
過去に感謝し、未来に誇れる網走を作っていきたいと願っています。

【１２月１９日　第２部　ワークショップ各班の様子】

【第２部　ワークショップ結果（生徒から出た意見の概要）】

A班　　永本議員　【ごみ問題】

・分別の仕方が難しい
・埋め立てる場所の候補の選定
・ごみを配送するための道路整備
・他の市町村で、ごみに関する問題は話題になっているか

B班　　小田部議員　【スポーツ・部活動】

・スキー場について、人工降雪機を導入すべき
　～降雪不足によるスキー場の中止が多い
・スキー場の料金が高い、無料シャトルバスなどの検討
・他の市町村と連携して広域で人工降雪機の導入を検討
・総合体育館が利用しづらい（定期利用団体の専用が多く、個人利用が使えない）
・インドアスポーツの利用環境が少ない
・部活動の遠征費が高額、市の援助ができないか

C班　　村椿議員　【スポーツ・部活動】

・スキー場の利用期間が短い→人工降雪機の導入
・スポーツする場所が少ない（屋内外体育施設の充実）
・部活動を行う際の移動費（バス料金などの補助）

D班　　井戸議員　【公共交通】

・部活動などの帰りは、バスの本数が少なく時間に間に合わないことがある
　→一方で、なり手不足などによる運転手不足もある
・AIによる自動運転の導入
・ライドシェア（どこバスの促進）
・高齢者への支援もわかるが、若者への支援（交通費など）も充実させるべき

E班　　石垣議員　【公共交通】

・バスの本数が少ない（休日の減便も含む）
・運賃が高い
・電気自動車の導入（ランニングコスト削減）
・市から運行会社への支援の充実
・どこバスの促進

F班　　古都議員　　【公共交通・高校生支援】

・バスの本数が少ない

・運賃が高い

・JRの本数が少ない

・高校生の資格取得のための検定代補助を実施

・部活動、活動環境、少年団などへの支援の充実

G班　　山田議員　　【公共交通】

・バスの本数が少ない（常呂行きの便が減便、通学に不便）

・運賃が高い→定期券への補助（小清水町は実施）

・運転手不足を補うため、免許取得費用などに支援する

・通学、休日の移動なども含め二次交通の利便性を高めて欲しい

H班　　松浦議員　　【公共交通】

・バスの本数が少ない（休日の減便も含む）

・運賃が高い

・高校生への奨学金支援（地元へのUターン促進）

・部活動を行う環境がなく、地元を離れて（継続したいため）しまう学生も多い

・学生も議会や市役所に声をあげていくべき

I班　　平賀議長　　【社会福祉】

・日体大附属高校への補助金のあり方（市内高校には？）

・人口減少に歯止めをかけるため、人口の少ない町は予算をかけている
　網走市は？

・子育て支援を充実

・テーマは社会福祉だったが、自分の意見が言えてよかった

J班　　深津議員　　【少子化対策】

・若者支援→自動車学校の費用など

・多子世帯支援→種々の支援金の

・子ども食堂への支援、運営が高齢化している

・少子化対策が経済対策につながる

K班　　里見議員　　【高校生支援】
・交通費、検定料の支援（小清水町は支援あり）
・合格後の支援（検定をいかせる環境つくり）

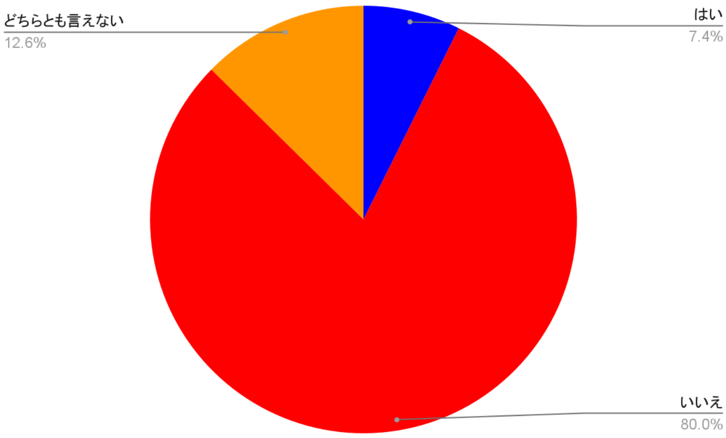
L班　　澤谷議員　　【高校生・若者就労支援】
・アルバイトができる場所（コンビニ・スーパー等）
・駅前の活性化（コンビニ）
・定期代への支援（特に市外・郊外通学者）
・部活動をやる生徒が減少（遠征費などへの支援）
・医療費の補助
・検定に伴う問題集や参考書代の支援
・ふるさと納税の拡充による資金調達

M班　　古田議員　　【都市計画】
・降雪不足対策（スキー場対策）
・向陽地区の活性化（コンビニ・郵便局等）
　～高齢者増加により市街地に移動するのが大変
・学校の有効利用（イベントやプールの市民開放）
・サウナ施設を作る
・SNS等の活用（情報発信）

N班　　立崎議員　　【都市計画】
・公共交通の充実
・若者が集まる場所、娯楽スペース
・アルサキットのある地区と中心市街地の人口・活性度の差

【事前アンケート結果（概要）】

問：あなたにとって市議会または市議会議員は身近な存在ですか？



はい	7.4%
いいえ	80.0%
どちらでもない	12.6%

（いいえの理由）

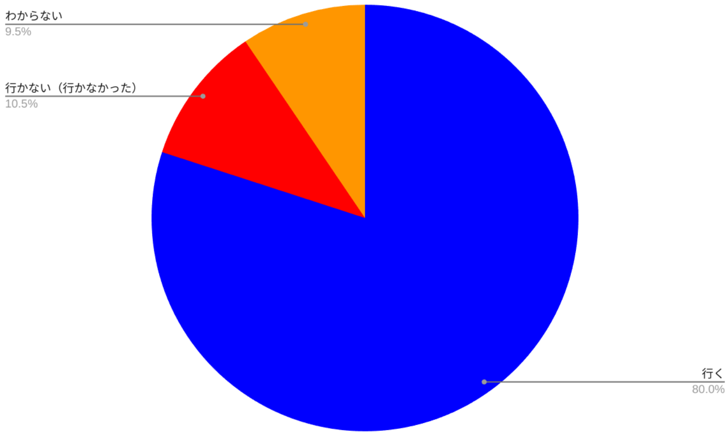
・交流がない、関わりがない

・市議会、議員が何をしているかわからない

・遠い存在

（ほか多数）

問：将来、選挙権（候補者に投票する権利）を得たら選挙に行きますか？



行く	77.6%
行かない	4.5%
わからない	17.9%

（行くの理由）

・自分の一票で変わるかもしれないから

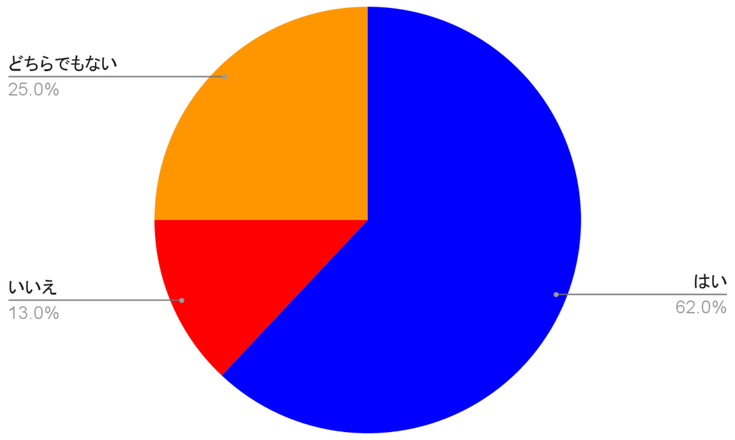
・若い人の意見を反映して欲しいから

・選挙に行くことは大事だから

・投票する権利があるから

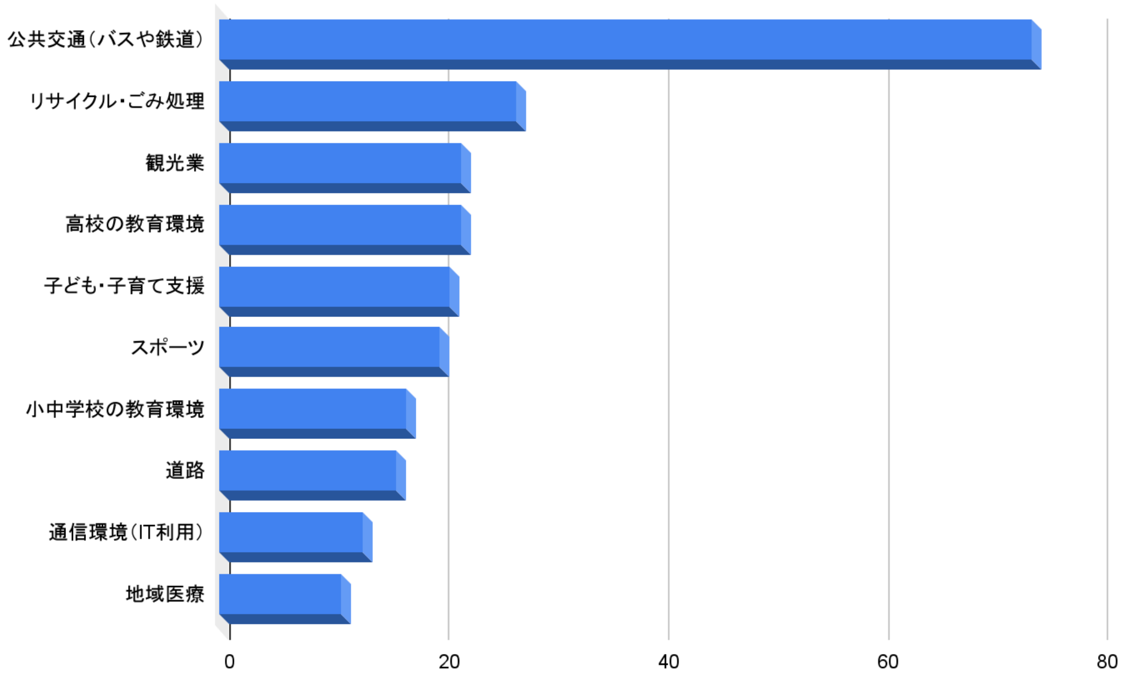
（ほか多数）

問：あなたの住んでいる街は暮らしやすいと感じますか？



はい	62.0%
いいえ	13.0%
どちらでもない	25.0%

問：網走の街で良くなって欲しいと感じるのは下記のどの分野ですか？
（複数回答）



（理由）

・交通が不便（バス・列車の本数、時間についての意見）
・働く場所がない
・ごみの分別がむずかしい
・運動する施設が少ない
・流氷の時期は観光客が来るけど、それ以外は来ないのを改善して活気が出て欲しい

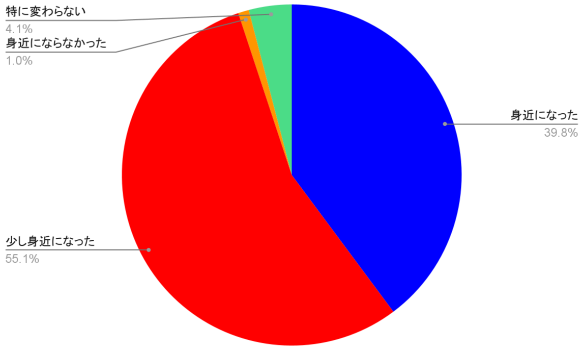
（ほか多数）

問：出前授業で市議会議員に直接聞きたいことがあれば教えてください。

- 普段どんな仕事をしているのか（多数）
- 一次産業の人手不足対策は
- 市議のやりがい、なった理由（多数）
- 多子世帯への支援が少ないはなぜですか
- 議員として思っている網走の課題は

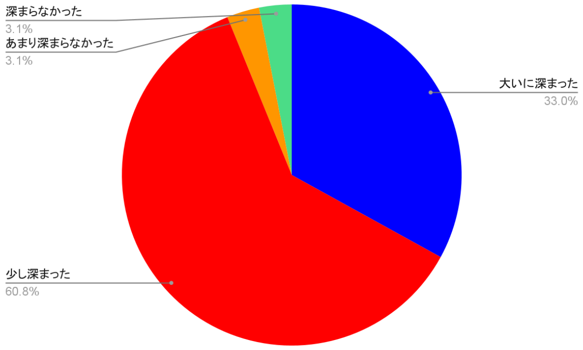
【事後アンケート結果（概要）】

問：今日の意見交換会に参加して、市議会または市議会議員は身近になりましたか。？



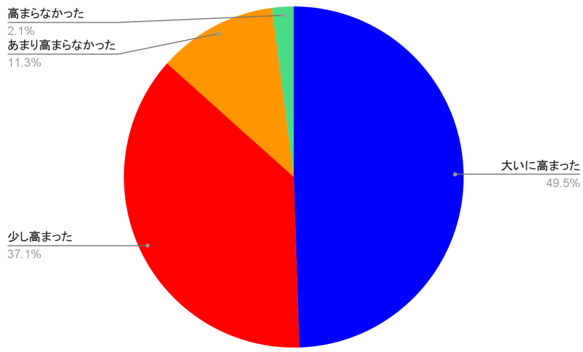
身近になった	39.8%
少し身近になった	55.1%
身近にならなかった	1.0%
特に変わらない	4.1%

問：今日の意見交換会に参加して、市議会及び市議会議員の役割について理解が深まりましたか？



大いに深まった	33.0%
少し深まった	60.8%
あまり深まらなかった	3.1%%
深まらなかった	3.1%

問：今回の意見交換会に参加して【選挙】に行こうという意識が高まりましたか？



大いに高まった	49.5%
少し高まった	37.1%
あまり高まらなかった	11.3%
高まらなかった	2.1%

（理由）

・自分たちの意見を聞いてもらえると思ったから
・若者が選挙に行くことで網走が変わるきっかけになるから
・自分の一票で結果が変わることがわかったから
・日本を変えようとする意志がある人を選んで議員になってもらいたいから
・今回の意見交換会を通うじて市議の方に意見を聞いてもらうことができ、立候補する人の役割を聞いて自分もこの人だったら選挙に行って投票したいなって思い始めた。

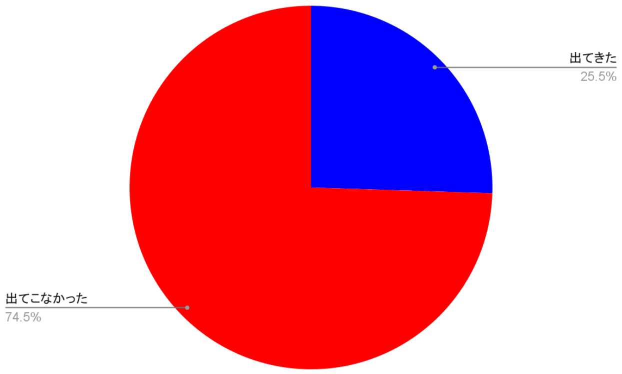
（ほか多数）

問：意見交換も踏まえて、どのようにしたら若い世代がもっと政治に興味を持ち、投票に行くようになると思いますか。（自由記述）

・オンライン投票（多数の意見あり）
・SNSでの発信（多数の意見あり）
・今回の意見交換会のような若者の意見を聞く機会を増やす（多数の意見あり）
・若者世代への施策（多数の意見あり）
・投票所を各高校に設置して放課後に投票できるようにする
・若いひとが選挙に立候補する
・このような意見交換を中学生などを対象に行う

（ほか多数）

問：今日の意見交換会を受けて、市議会議員にもっと聞いてみたいことが出てきましたか。



出てきた　　　　　２５．５%
出てこなかった　　７４．５%

（理由）
・今日自分たちが意見交換した内容が、今後どのように審議されるのか
・高校生の支援策について
・除雪のこと（今日、話すことができなかったから）
・公共交通について、もっと深く聞きたい

（ほか多数）

問：今日の意見交換会全体の感想や網走のまちづくりについての意見があれば教えてください。（自由記述）

・市議と交流でき、市議の方を知ることができて良い取組だった（多数の意見あり）
・各グループのプレゼンがクオリティが高く感動した
・意見交換が３０分では短かった（２時間くらいあっても良い）
・市議の方が網走の現状について詳しく説明してくれて学びになった
・自分たちの思っていることを発言できる機会を増やせば良い未来を作れる。若者議会が設立したら、本当に未来が良くなると思う

（ほか多数）